

News Release



令和5年10月18日

各報道機関文教担当記者 殿

『宮本経済学の再評価と継承』 出版記念講演会を開催

金沢大学附属中央図書館では、本学名誉博士でもある宮本憲一氏より1万点以上の図書と数万点に及ぶ資料の寄贈を受け、中央図書館に「宮本文庫」を設けています。平成6年より数次にわたって図書・資料の寄贈を受けてきましたが、令和5年3月に最終の図書・資料の搬入を終えました。

このたび、本件と人間社会研究域経済学経営学系 碓山洋教授を中心とした研究グループによる『宮本経済学の再評価と継承』の出版を記念して、10月28日に「環境政策の歴史から考える世界の未来像」と題した講演会を開催します。

つきましては、当日の取材・報道をよろしくお願いします。

『宮本経済学の再評価と継承』出版記念講演会

日時：令和5年10月28日（土）13：30～16：00

※報道受付13：00～13：20

場所：金沢大学 人間社会第1講義棟 301講義室

内容：講演／宮本憲一氏

（大阪市立大学名誉教授・滋賀大学名誉教授・金沢大学名誉博士）

対談／宮本憲一氏×寺西俊一氏（一橋大学名誉教授・日本環境会議理事長）

詳細：別紙をご確認ください

【本件照会先】

人間社会研究域経済学経営学系 教授 碓山

TEL：076-264-5404

Email：ikari@staff.kanazawa-u.ac.jp

【広報担当】

人間社会系事務部総務課総務係 最上

TEL：076-264-5450

Email：n-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

『宮本経済学の再評価と継承』出版記念講演会 環境政策の歴史から考える世界の未来像

日時 令和5年10月28日(土) 13:30~16:00 (開場13:00)

会場 金沢大学角間キャンパス人間社会第1講義棟3階301講義室

プログラム

<講演>「環境政策の歴史から考える世界の未来像」

宮本 憲一 氏(大阪市立大学名誉教授・滋賀大学名誉教授・金沢大学名誉博士)

<対談>宮本 憲一 氏 × 寺西 俊一 氏(一橋大学名誉教授・日本環境会議理事長)

定員 120名(事前申し込みされた方を優先し、当日受付については先着順となります)

申込 右記 URL より登録ください。<http://miyamoto.w3.kanazawa-u.ac.jp/91>

その他 入場無料

<講演者・対談者 紹介>

宮本 憲一 氏：大阪市立大学・滋賀大学名誉教授、金沢大学名誉博士。

旧制四高の最後の卒業生。金沢大学助手・助教授、大阪市立大学助教授・教授、立命館大学教授、滋賀大学学長を歴任し、現職、

辞書にまだ「公害」という見出しがなかった時代に『恐るべき公害』(庄司光と共著)を世に問い、日本初の『環境経済学』を著すなど、常に斯界を牽引してきた。

平成26年度には日本学士院賞を受賞し、天皇(現上皇)ご夫妻に環境問題、環境政策について講義した。財政学、地域経済学、環境経済学、自治論などの各分野の学会会長を歴任するなど、多くの分野の第一人者である。著書、論文は膨大な点数におよぶ。

寺西 俊一 氏：一橋大学名誉教授。日本環境会議理事長。

宮本氏らとともに中心となって日本環境会議を設立。著書・論文、多数。日本各地の公害問題、環境問題と格闘しながら進めてきた理論活動は、今日の環境経済学の到達をしめす。科学研究費による研究プロジェクト「宮本憲一氏収集資料を活用した環境政策形成史に関する研究」(代表=碓山洋)の中心メンバー。

<『宮本経済学の再評価と継承』について>

令和4年12月出版。

日本において環境を社会科学にとらえようとするならば一度は触れるのが宮本憲一氏の研究である。社会資本、地域、国家、環境を経済の「容器」としてとらえ、経済活動とその「容器」とを、相互作用の関係のなかで統一的に分析し総合する経済学体系を構想したその業績は、経済学にとどまらず幅広い研究者に示唆と研究の種を与えている。本書では氏の蔵書「宮本文庫」の整理・公開にあたる金沢大学が、日本の環境研究の一線にいる研究者を取りまとめ、「宮本経済学」の再評価と継承を図る。

(共編著者)

- ・碓山 洋 (金沢大学人間社会研究域経済学経営学系 教授)
- ・武田 公子 (金沢大学人間社会研究域経済学経営学系 教授)
- ・佐無田 光 (金沢大学融合研究域融合科学系 教授)
- ・土井 妙子 (金沢大学人間社会研究域学校教育系 教授)